

健康・生きがい就労関連
就労開発・支援事業

(担当：遠座)

健康・生きがい就労（以後 KIS 事業と略）及び
自治体関連の進捗

■自治体 KIS 事業

◎池田市

6月3日ハローワーク池田に対し、池田市地域支援課、大阪府と一緒に KIS 事業を説明

KIS 事業ではハローワーク（以下 HW）に高齢市民と雇用事業者のマッチング事務を担当していただいています。今年から池田市で KIS 事業を実施するに当たり、今回初経験となる HW 池田に KIS 事業の概要や今後のスケジュールを説明しました。HW 池田からは所長以下6名が出席され、熱心に話を聞いてくださいました。池田市では7月14日に事業者向け説明会、10月30日に市民向け説明会が行われます。

◎高槻市

6月4日高槻市主催の事業者向け合同説明会にて KIS 事業を説明

高槻市では KIS 事業を今年度も2回行う計画のため、今回2回分の参加事業者に向けた説明会が行われ、介護系5、障がい者系2、保育系3の計10事業者が参加されました。遠座から、KIS 事業を始めた経緯、仕組み、参加高齢者の反響、参加雇用事業者の声、受け入れ施設での注意点等について話をしました。その後2年前から参加されている特別養護老人ホーム高槻荘から実際に感じているシニア雇用メリットとして①シニアはまじめで休まない。休む場合でも振出を申し出てくれる。(cf. 高校生バイトは平気で突然休む)。②雇ってくれてありがとうのスタンスを感じる。親の介護等で長期休暇を取る場合も一般的に籍は維持し辞めたくないと言われるが「やめさせていただいても構いません」と謙虚。③社会人教育が済んでいて接遇マナーがしっかりしているため、若年者のような研修の必要がない。④決まっていない隙間の仕事も率先してやってくれる。とのお話がありました。

◎柏原市

6月11日柏原市主催の事業者向け説明会にて KIS 事業を説明

介護、医療法人、株式会社の4事業者が参加されましたが、医療法人の事務部長から「患者のリハビリの一環で行っているフラワーアレンジメントなどは素人の看護婦等が先生をしているが、得意なシニアがいればぜひ特技を発揮してリハビリのお手伝いをしていただきたい」とシニアに期待する発言がありました。

◎枚方市

6月20日枚方市主催事業者向け説明会にて KIS 事業を説明
介護系10事業者が参加されました。市から「4月に実施した市民向け説明会では募集定員40名が受付初日の午前で定員に達した。現在行われている3か月就労トライアルは参加市民・雇用事業者ともに好評で、市議会からもよい取り組みと評価されている」とのお話がありました。

◎生駒市

6月6日生駒市主催第1回目市民向け説明会にてシニアが働くことの意義について講演

生駒市コミュニティセンターホールでの説明会に60～84歳の市民20名が参加されました。見学に来られた奈良労働局の方からは、労働局・HWでも様々な就労イベントを行っているがこんなに人が集まり、しかも参加者が熱心に聞いているイベントはない。今後奈良市や天理市で、また KIS 事業とは別に就労の啓発講演もして欲しいとのお話がありました。

■その他

◎関西万博でのシンポジウムで大阪ガスネットワーク(株) CEL 山納所長代理が KIS 事業を紹介

6月24日 WHO からの依頼で、チェコパビリオンで行われたシンポジウム Living Longer, Living Well: Innovations for Healthy Ageing に山納氏が出席し、万博ガスパビリオンでの高齢者活動研究含め KIS 事業について発表されました。

◎追手門学院大学地域創造学部で特別講義

6月17日ユニバーサルデザイン担当の教授からの依頼で55名の学生を対象に「持続可能な少子高齢社会づくり～歴史に学び、世界に学び、地域に活かす～」と題して75分の特別講義を行いました。学生からは、「お話はデータや研究に基づいた説得力のある内容で、興味深いワードや事実が沢山あり、非常に勉強になりました。特に身内に生活が不活性化しつつある人や認知症の人がいる私にとっては社会との繋がりの重要性や子どもとの交流の効果(社会的処方)、さらに高齢者でも生存のモチベーションや生きる目的によって脳の残存機能が活性化する…といった話はポジティブかつ希望がもてる内容で、何かその情報を活かさないかと考える事ができました」などの感想をいただきました。



◎宝塚市
ファミリーサポートセンター研修会にて『人のために！』～健康長寿のために役割を担う～ と題して1時間の講演をしました。
メモを取る方が多く、「シニア世代が子育てを支援するアイデアはとても良い発想だと思います。映像と説明でわかりやすく理解しやすかったです。人との出会いを大事にしていけたらいいなあ～と思いました」などの感想をいただきました。

7月の予定

- 2日 吹田市市民向け説明会
- 12日 ライフ・キャリアサロンにて 50歳前後の世代向け講演
- 14日 バンコク都保健局視察団対応（宝塚市と）
- 14日 池田市事業者向け説明会
- 22日 岸和田市事業所向け説明会
- 28日 高槻市市民向け説明会（R7年度第1クール） など

啓発・研修事業分野
(担当：山口・山本・大林)

【フレミラ宝塚】
初めてのスマホ Android コース
《6/5》 相談会
この日は、これまでの講座内容についての復習と相談を行いました。基本操作や設定の見直しから、QRコードの使い方、Google レンズの活用法、カメラや写真の扱い方、そして音声入力まで、スマホを使う上での基礎的な内容を幅広く確認。受講生はグループ内で担当チューターへ順番に質問し、その回答をみんなで共有する形で進行了ました。実際に操作をしながら疑問を解消でき、理解がより深まりました。

《6/12》 LINE (1) 講師：大林
LINE の初回で、基本的な機能や使い方を学びました。LINE とは何か、どんなことができるかをはじめ、安全に使うためのセキュリティ設定についても解説。メッセージの送信方法、スタンプや写真のやり取り、そして QR コードを使った友だちの追加方法など、LINE の初歩を丁寧に実践を交えながら学習しました。何となく使っていた LINE をきちんと学び、新しいことも楽しみながら習得しました。

はたらくきっかけづくり
プロジェクト (担当：井川)

引き続き園芸療法の取材をしています。大阪河崎リハビリテーション大学（貝塚市）で園芸療法士をめざしている学生さんたちから話を伺いました。近隣の福祉関連施設に出向き、障がいを持った方や高齢の方たちと触れ合いながら園芸実習。園芸の基礎知識から福祉関連の知識も含めて、学ぶ領域は広いそうです。大阪では、園芸療法士の資格が取得できる教育機関が少ないため、1時間ほどかけて大阪市内から通学されている方も多いとか。高校時代に高齢者のカルチャーセンターの園芸サポーター（有償ボランティア）をしているうちに、園芸が高齢者の QOL をあげる有効なツールになると思い、園芸療法士になろうと志した K さん。『園芸活動は、立つ、しゃがむ、移動するなどそこそこの運動量があり、何気ない動きがリハビリに繋がります。植物や土と対話することで五感も働かせます。そのため、障がいを持った方やシニアに園芸療法はすごく適しています。作業をしながら、昔話を聴いたり、その方の内面をひきだすことができたときは、“ヤッター！” と思います。自分たちがパイオニアという意識で学んでします』と。頼もしい話をたくさん伺うことができました。

《6/19》 LINE (2) 講師：大林
前回に引き続き、今回は LINE の応用的な使い方にフォーカス。無料スタンプの取得方法やブロック・削除の機能について学び、全員でグループを作成してメッセージやスタンプをやり取りしました。さらに、リアクション機能やミュート送信、友だちの名前を変更する方法など、便利機能も紹介。音声入力の活用も再確認し、より快適に LINE を使うための工夫に触れることができました。

【川西多田地区】
《6/12》 スマホ相談会 1 回目 相談員：大林（茂）・大林（千）・山本
相談会初回は、前年度の初心者講座を受講した参加者 6 ～ 7 名が集まり、ラボから出向の相談員 3 名が個別対応。LINE に関するさまざまな疑問のほか、QR コードの読み取り、Google レンズの使い方、音声検索、そして「らくらくスマホ」の設定変更など、実際の操作を伴いながら相談に応じました。参加者それぞれの課題に合わせて丁寧な説明の時間が取れ、来て良かったと喜んでいただけたようです。次回からは地区の広報誌を見た方が対象、参加者の人数に合わせて臨機応変に対応していこうと思います。

2025年7月のスマホ講座予定

講座名	場所	開催日	時間	内容
はじめてのスマホ講座 Androidコース	フレミラ宝塚	7月3日	10:30-12:00	LINE③(グループLINE & LINEの裏技) + アンケート
		7月10日	10:30-12:00	LINEで暑中見舞いを作ってみよう！
		7月17日	10:30-12:00	相談会(LINE全級)
スマホ相談会 (1回目)	川西緑台第2自治会館	7月10日	14:00-16:00	先月のトライアルで実施した相談会を緑台地区で申し込まれた方に実施